

人工関節手術の実績

①主な人工関節の総手術数(件) ②人工膝関節(件) ③人工股関節(件) ④処置が必要な合併症の割合(%)

都道府県	①	②	③	④
北海道				
青森				
宮城				
秋田				
福島				
茨城				
栃木				
埼玉				
千葉				
東京				
新潟				
富山				
福井				
長野				
岐阜				
静岡				
愛知				
三重				
京都				
大阪				
兵庫				
神戶海星	359	217	142	0.6
奈良				
和歌山				
鳥取				
岡山				
広島				
山口				
徳島				
香川				
愛媛				
高知				
福岡				
佐賀				
長崎				
熊本				
大分				
宮崎				
鹿児島				
沖縄				

*「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「ク」はクリニック。「リハ」はリハビリテーション。「一」は無回答または不明。※は、リウマチ科(2013年1~12月)と整形外科(13年4月~14年3月)の合計数。

人工関節 傷んだ部分に

人工関節は、加齢や病気で傷んだ関節の代わりになる、金属やポリエチレンなどでできた人工物だ。読売新聞は、2012年に全国の厚生労働省の地方厚生局に人工関節の手術数を届け出た医療機関718施設に、13年の手術実績などをアンケートし、489施設(回収率68.1%)の回答を得た。人工関節の中で代表的な人工膝関節と人工股関節の手術数(関節数)と、合計数を掲載した。紙面の都合から、合計数が160件以上の施設(該当がない県は最多の施設)を載せた。

骨の一部を切って変形を矯正することもあるが、それでも対処できない場合、最終手段として傷んだ部分を取り除き、人工関節に置き換える手術を行う。人工股関節手術では、「変形性股関節症」が代表的な病気だ。生まれつきの関節のずれや、骨盤の形の異常などの要因で、老化が重なって発症することが多い。ほかに関節リウマチや骨折などでも人工関節を入れることがある。手術は1~2時間で済む。最近



143

曲げ伸ばしリハビリ重要

切開する皮膚の長さを小さくした低侵襲手術や、バランス良く人工関節を入れるために両側の手術を同時に行う施設も増えている。人工関節手術では、感染や脱臼などの合併症が起きることがある。再手術などの処置が必要となった合併症が起きた割合も示した。割合が低い施設は、手術室の滅菌状態に気を遣うなど合併症対策に力を入れているとも言える。人工股関節の手術後は比較的楽だが、膝関節では手術後すぐに痛みが取れるわけではなく、直接から関節の曲げ伸ばしなどのリハビリが重要だ。東京医科大学大整形外科教授の桑田大さんは、「半年ぐらいはかなり違和感が残るはず。必要以上に痛みを我慢せず、早めに手術に踏み切った方が回復も早い」と勧める。(岩永直子)

健康・医療

子宮頸がんウイルス 機器に付着も

子宮頸がんの主な原因となる「ヒトパピローマウイルス」が、婦人科の診察で使う超音波検査機器に付着することがあるという調査結果を、自治医大などのグループが発表した。膣に器具を入れて子宮や卵巣の状態をみる超音波検査は、婦人科の診察で広く行われている。通常は、一日の診察開始前に消毒し、ゴム製などのカバーをかけ、カバーは患者の診察ごとに交換、廃棄している。同大産婦人科准教授の桑田知之さんは、同大で使った20本の器具を

一日の診察終了後に検査した結果、2本からウイルスが検出された。そこで、カバーを交換する時に手袋をはめて1回ごとに手袋も捨てると、ウイルスの検出は1本もなかった。カバーを交換する医療スタッフの手を通じてウイルスが器具に付着した可能性もあるという。このウイルスは体内に入っても大部分は自然に消失するが、感染が持続したごく一部が子宮頸がんを起こす。桑田さんは「今後、さらに広く実態調査を行った上で、徹底した防止策を講じていきたい」と話している。

自治医大など調査

◆小児がん施設を支援するチャリティウォーク 7日午前10時 神戸市中央区の神戸空港を出発。参加者は参加費(一般3000円、中学生以下1500円)と引き換えに渡されるオリジナルTシャツを着て、小児がん専門施設「チャイルド・ケモ・ハウス」を通り、テザイン・クリエティブセンター神戸(同区)までの約7.5キロを歩く。午前10時半に同ハウスを出発するハーフコース(約3.7キロ)もある。ゴールでは神戸のショップが多数出店するバザーも。参加費とバザーの売り上げが、寄付に充てられる。雨天決行だが、当日午前7時時点で警報が発令されていたが中止。事前にインターネット(<http://www.keanohouse.jp/walk.html>)で申し込みが必要。問い合わせは同ハウス(078-3303300)へ。

次回(7月6日)は 関節リウマチ

過去の「病院の実力」は読売新聞の医療サイト「ヨミドクター」のパソコン版(<http://yomidr.jp>)と携帯版(<http://m-yomidr.yomiuri.co.jp>)で「読みなよめ」(月額有料)。

◆修正・追加 5月4日の「病院の実力 甲状腺の病気」で、静岡県聖隷三方原病院は「新規患者388人、パセドウ病患者50人、橋本病患者91人、外科手術40件」に修正します。富山県の富山赤十字病院の「新規患者334人、パセドウ病患者32人、橋本病患者204人、外科手術19件」を追加します。

■詳細な結果はヨミドクターに再置換件数、平均在院日数、ナビゲーションシステムを使っているかなど、紙面で掲載しきれなかった調査結果は、読売新聞の医療・健康サイト「ヨミドクター」の「病院の実力」に掲載予定です。また、ヨミドクターでは独自のデータベースについても治療実績を掲載しています。閲覧には有料登録が必要です。詳しくは<http://yomidr.jp/page.jsp?id=215>

添え、やさしく解説しています。「がん」「心臓・血管の病気」「中高年に多い病気」「こころの病気」など、内容も多岐にわたり、今知っておきたい情報ばかりです。一般書店と読売新聞販売店で扱っています。(読売新聞社、税別648円)



■紙紙 千530-8551 読売新聞大阪本社 科学部健康係
■ファクス 06-6361-0521
■電子メール oykagaku@yomiuri.com